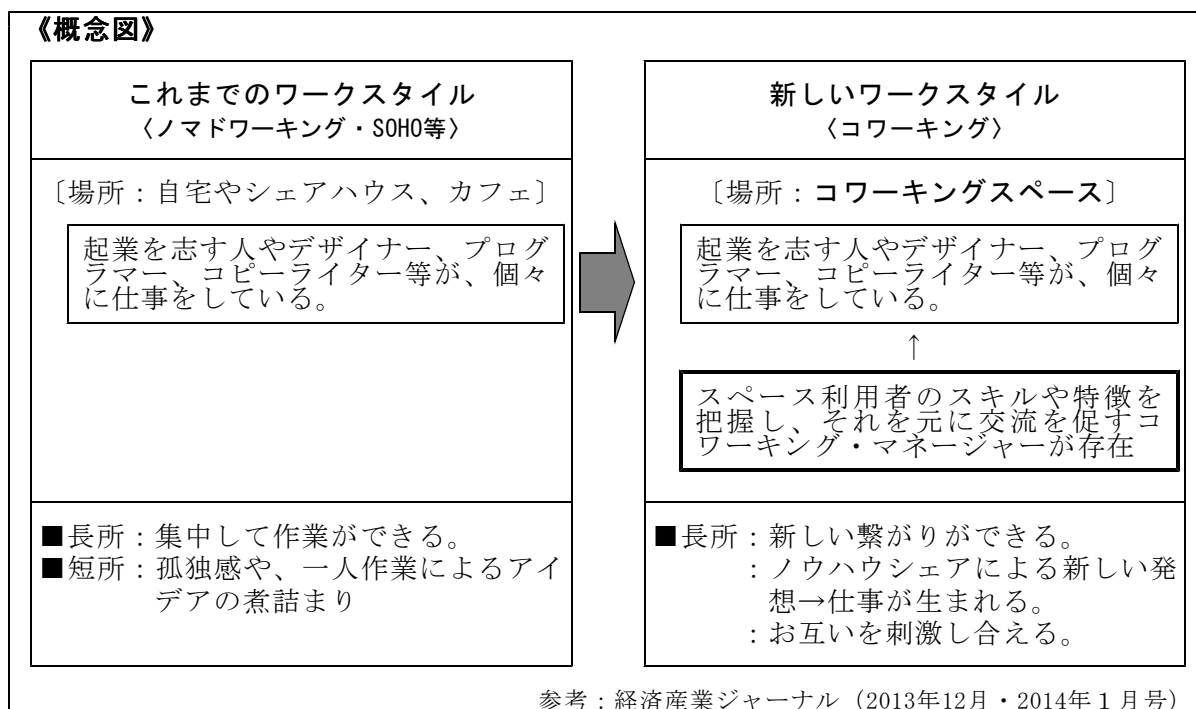


コワーキングスペースについて

1 コワーキングとは

事務所スペース、会議スペース等を共有しながら独立した仕事ができるスペースであり、レンタルオフィス等の個別ブースで働くのではなく、図書館のような解放されたスペースで働くことができる。

コワーキングスペースでは、利用者同士のコミュニケーションが推奨される環境が整っているため、自然と会話が生まれ、交流の中から新しい発想やイノベーションが生まれたり、そこから協業関係に発展したりするなど様々なメリットが期待されている。(2014年中小企業白書)



2 道内のコワーキングスペースの設置状況

平成23年11月に道内初のコワーキングスペースが誕生。現在10件のコワーキングスペースが運営されている。(平成25年度末現在。道経済産業局調べ)

- ・札幌(6)：ドリノキ、BASE、SHARE、札幌カフェ、育てるコワーキング、セイリングデイズ36
 - ・旭川(1)：あさひかわ37
 - ・函館(2)：小春日和、ハゴラボ
 - ・北見(1)：みんなのコワーキングきたみ
- ※全国の設置状況は不明

3 コワーキングスペースに対する支援例

(1) 創業支援事業計画に基づく支援

- ・ 本年1月に施行された産業競争力強化法に基づき、地域における創業の促進を目的とする「創業支援事業計画」の認定を受けた市町村による支援
 - *札幌市：「SHERE」の運営支援
 - *旭川市及び周辺3町：「あさひかわ37」を相談会の会場として提供

(2) コワーキング応援組織

- ・ 平成24年3月、全国初のコワーキング応援組織である札幌コワーキング・サポーターズ(SCS)が設立。
 [構成団体] 北海道経済産業局、札幌市、北洋銀行、北海道銀行、日本政策金融公庫
 [平成25年度事業]
 - ・ フェイスブックでの情報発信
 - ・ SCS巡回サービス(イベント、個別相談会に合わせて実施)
 - ・ 道内イベントの開催(北海道コワーキング・パーティー2013他)

参 考	創業準備支援施設整備事業(道：平成15年度～平成17年度)
●概要	創業準備オフィスの提供
●場所	札幌市北2西2オーク札幌ビル6階
●事業量	15ブース(入居期間 6か月、利用料 13,650円/月)
●実績	累計23名利用(17名)[⑮3名(0名)、⑯11名(7名)、⑰9名(10名)]